

施策評価シート(平成30年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (4) まちづくり観光の推進

(評価担当者)

生活文化部長 佐久間 利夫

基本施策が目指す姿

来訪者が、地域の魅力に共感し、活気にあふれた交流が行われています。

関連する分野別計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	主要観光施設入込客数	人	306,650	H27	248,902	235,411				368,000
2	関宿内の観光関連店舗数	店舗	22	H28	22	24				26
3	まちづくり観光に関わる団体数	団体	89	H28	88	90				94
4										
5										

市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 観光地としての魅力があり、観光施設が整っている	重要度	0.84	0.80	多くの市民は、亀山市が観光の魅力に乏しいという認識をもたれていることが窺えるため、関宿のまちなみや亀山7座トレイルなどについて、市民向けにも更なる発信を行うことも必要である。
	満足度	0.79	0.90	
2	重要度			
	満足度			
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	広域的な観光振興として、鈴鹿山脈を境に隣接する三重県・滋賀県の8市町が共同で鈴鹿国定公園の観光マップを作製したほか、鈴鹿山脈等の登山道の維持管理や情報発信などに連携して取り組むため、石水溪観光協会や、鈴鹿高等学校、亀山市地域社会振興会との間で、亀山7座トレイル登山道観光資源活用協定を締結した。また、亀山商工会議所や亀山市観光協会と連携しながら、大型クルーズ船の誘客活動にも取り組んだほか、亀山市フィルムコミッションも設立され、本市の豊かな自然や歴史を市内外に発信する新たな素地ができた。その一方で、基本施策に設定している主要観光施設入込客数が、近年、減少傾向にあることから、総合判定をBとした。
反省点・課題	
既存の個々の観光資源だけでは観光客の増加は難しいので、新たな観光資源の開発やプロモーション活動も進めながら、市全体の観光振興を総合的・計画的に進める必要がある。また、まちづくり観光のコーディネート機能を果たす亀山市観光協会の運営基盤の強化についても、引き続き取り組んでいく必要がある。	

今後の展開方針

地域の魅力発信のためには、既存の観光資源単体での発信だけではなく、例えば新しく整備を進めている亀山7座トレイルに合わせて、歴史的なまちなみや食の観光資源等もPRするなどにより、既存の観光資源にこれまで訪れなかった客層の誘導も期待できることから、市内の観光資源の一体的なプロモーションも考慮に入れた情報発信を行うとともに、市の観光振興を一層推進するために新たな観光ビジョンを策定することで、まちづくり観光の推進を図る。また、亀山市観光協会の組織運営については、引き続き協会の各専門部会とともに協議・検討を行い、必要な運営支援も行うことで、組織力の強化を図っていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		持続可能なまちづくり観光の推進					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	「関宿のにぎわいのための活性化委員会、クルーズ船の誘客活動等の取り組みのため企画委員会が設立され誘客活動を行った。また、亀山市フィルムコミッションが9月末に設立し、対外発信に必須のHPが作成され、市の地名度向上に向けた取り組みが行われた。フィルムコミッション設立により、多くの団体、企業が関連した組織体が形成されることになり亀山版DMOの礎となると考える。	評価	HP閲覧数は順調に増加しており、観光入込客は目標値には届かなかったが、猛暑等の環境変化に関わらず滞留型施設の玉屋歴史資料館、石水溪キャンプ場、歴史博物館等の入込客数は増加に転じた。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17065	観光協会運営支援事業	主	17,700 / 17,392		B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		観光地の魅力づくり					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	「県内及び県外交流市のイベントで観光プロモーションを実施し、関宿を中心としたPRを行った。大型クルーズ船の誘客に関して、出航地である横浜港で乗船前に市のPRを行った。亀山7座トレイル事業は、亀山7座観光資源活用協定に基づき亀山7座トレイル登山道活用ネットワークが結成され、市民協働事業として6回の意見交換会を行い、亀山7座登山道活用プランの検討を行った。	評価	観光PRはすぐさま数値的効果が得られないものであるが、土山SAのパンフレットスタンドで10,000部/年の観光パンフレットを配布するなど、本市の観光の魅力発信については一定の成果を得た。また、大型クルーズ船の誘客には、横浜港で乗船時にPRを行い多くの誘客を行った。亀山7座トレイル事業については、猛暑、台風等の天候の影響で十分な現地調査が実施できなかった。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17064	観光プロモーション推進事業	主	1,000 / 985		B	B
	7056	亀山7座トレイル事業	標	976 / 901		B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		快適に滞在できる受け入れ環境の向上					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	「関宿・周辺地域にぎわいづくり基本方針」に沿った事業を行なう団体に対し、関宿にぎわいづくり補助金交付要綱に基づき、1団体に補助金を交付し、賑わいづくりに資する事業実施を支援した。 亀山納涼大会、関宿祇園夏まつり、街道まつり等を実行委員会主催により実施した。	評価	関宿における各種イベントに参加する団体に活動支援を行い、関宿のにぎわい創出につながっている。 観光イベントの実施団体に補助金を交付して活動支援することにより、市の魅力、来訪者との交流促進、市民相互の連帯感の醸成に寄与している。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	7044	関宿・周辺地域にぎわいづくり推進事業	標	270 / 270		B	B
	7011	団体支援事業(観光振興事業)	標	21,267 / 21,134		B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果